

2025

7

July

No.271

JA とまこまい広域

燦々

SANSAN

光り輝く



令和7年度新規就農者激励会
農業の担い手として新たな風を迎える

特集

あつま田舎まつりパレードを踊った役職員たち

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.271



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241 FAX 0145-273941
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和7年7月10日
ホームページ <http://www.ja-tomakomaikouiki.com>
メールアドレス info@ja-tomakomaikouiki.com

印刷 株式会社須田製版

JAバンク SUMMER CHOKIN CAMPAIGN 2025

夏の貯金

キャンペーン2025

キャンペーン期間 6/20~8/29金

組合員の方または新たに組合員加入いただける方

スーパー定期貯金

20万円以上の新規または純増(自動継続)

1年定期 0.300% (2025年5月9日時点の店頭金利0.275%)

3年定期 0.380% (2025年5月9日時点の店頭金利0.350%)

他銀行等からの預け入れ定期金額が300万円以上で

広域産 お米 5kg プレゼント (さくら米または雪印米より選べ、お一人様1回限り)

その他の注意事項

- お米プレゼントのみ、他銀行等からの新たなお預入れ資金とします。
- 自動継続後の適用金利は、自動継続日における店頭表示金利となります。
- ATM、ネットバンクでのお預入れは対象外となります。
- お利息には20.315%(国税15.315%、地方税5%)の源泉分離課税が適用されます。(マル優を除く)
- やむを得ず中途解約された場合は、当JA所定の中途解約利率が適用されます。
- 組合員加入をお申込みいただける方は、当JA地区内に住所を有する個人、または勤務先が当JA地区内の方となります。
- 組合員加入お申込に際しては、1口1,000円以上の出資金をお預かりいたします。

JAとまこまい広域

ホームページ <http://www.ja-tomakomaikouiki.com/>

苫小牧支所 ☎0144-84-5117	早来支所 ☎0145-22-2525
厚真支所 ☎0145-27-2241	追分支所 ☎0145-25-2525
白老支所 ☎0144-82-2266	穂別支所 ☎0145-45-2211

令和7年度

新規就農者激励会 農業の担い手として新たな風を迎える

新規就農者紹介



- ① 農業を志した理由を教えてください。
- ② 今後どのような農業をしていきたいですか？
- ③ 趣味や特技を教えてください。
- ④ 5年後の自分に向けて一言お願いします。

さとう けんじ
佐藤 賢治さん
(37歳)



【厚真支所】
経営主：佐藤賢治(本人)
経営体：畑作

- ① 妻に農業をしたいと言われて興味を持ったため。また、これから1次産業が大切な時代になったため。
- ② 今後は面積を拡大して有機農業での土地利用型農業を目指していきたい。また投入する資源のバランスを考えて、環境に配慮した農業を行っていく。
- ③ 趣味は読書、ポッドキャスト、動画コンテンツ視聴(農業、経営、哲学、言語学、IT、ガジェット、カメラ等)
- ④ 安平町の一員として、地域にしっかり貢献しながら農業を行ってください。

こ であ たける
小寺 毅さん
(42歳)



【追分支所】
経営主：小寺毅(本人)
経営体：野菜

- ① 以前から農業に興味があり、年齢を重ねるとともに日本の食料自給率の低さにも危機感を抱くようになりました。それと同時に、東京で働いているときに農家をしている祖母から野菜が送られてきて、その美味しさと種から食物を作る技術の素晴らしさを感じ、就農を決意しました。
- ② 高い収量と秀品率を目指して、美味しいメロンを栽培していく。
- ③ 趣味：カメラ、オーディオ、キャンプ、筋トレ、ゲーム
特技：スキー、スノーボード、ランニング
- ④ 今は上手くいったないけど、少しは成長できているでしょうか。

なか の ゆういち
中野 佑一さん
(40歳)



【厚真支所】
経営主：中野佑一(本人)
経営体：野菜

- ① 自分のこれまでの経験と職歴、個人事業主になりたいという目標から農業を志した。
- ② 短期目標としては、ハウス増棟による規模拡大と土壌特性の把握による、肥培・栽培管理の最適化を進めていきたい。長期目標としては、5年後の計画数字のクリアの準備と行動。
- ③ 機械系メーカーを数社経験しているので、車・農機の修理ができます。
- ④ 計画数字は達成できましたか？環境の変化に応じ、価値観をアップグレードして日々最適な営農をしていこう!!

まる やま りょうた
丸山 亮太さん
(35歳)



【厚真支所】
経営主：丸山亮太(本人)
経営体：野菜

- ① トマト・ミニトマトが嫌いで、ある農家さんのもぎたてトマトの美味しさに感動し、自分も作ってみたいと思った。
- ② 施設栽培中心に頑張りたい。花きにも挑戦してみたい。
- ③ 野球観戦。
- ④ 色々あると思うけど頑張れ!

く どう じゅん き
工藤 純輝さん
(27歳)



【厚真支所】
経営主：工藤敏克
経営体：稲作・野菜

- ① 私が農業を志した理由は、父が農家をしていて幼いころから農作業を手伝う機会が多く、物心がついたときには、自分も農家になりたいと思ったから。
- ② 今後、高齢化が進むことが予想される中で、農業を通じて人と人とつながっていけるような環境を目指して、効率よく若い世代だからこそ柔軟に対応して、新しい技術と経験の両方を学びながら農業に従事していきたいです。
- ③ 趣味は野球、バレーボール
- ④ 農業は大変だと思うけど、体に気をつけて時代の流れに柔軟に対応して農業を楽しんでね!

ほり ゆう や
堀 祐弥さん
(32歳)



【厚真支所】
経営主：堀弘幸
経営体：酪農

- ① 酪農業に興味を持ったため。
- ② 酪農業について仕事内容を理解し、一人前に業務を遂行できるようにしていきたい。
- ③ 趣味はスポーツ観戦、読書。特技は特にありません。
- ④ 一人前に農業に従事できるように頑張ってください。



▲参加した新規就農者たち

JAとまこまい広域は6月10日、厚真町の本所で令和7年度新規就農者激励会を開催した。今年度は厚真支所4名、早来支所2名、追分支所で2名の計8名(うち夫婦就農2件)が就農を果たし、同会には5名が参加。同JAは平成15年度の初回から述べ215名の新規就農者を激励している。

開催にあたり堀組合長より参加者へ激励のことが贈られ、激励状が手渡された。また、参加者より今後の抱負が述べられ、厚真町幌内地区で新規就農を果たした工藤純輝さん(27)は「人と人とつながっていけるような農業を目指したい。若い世代だからこそ様々な困難に柔軟に対応して、頑張っていきたい」と意気込みを語った。



▲激励状贈呈の様子

燦々

SANSAN
光り輝く

No.271 CONTENTS

- 01 特集 令和7年度新規就農者激励会
農業の担い手として新たな風を迎える
- 03 カメラレポート
- 08 理事会報告
- 09 ・【白老】2025白老牛肉まつり開催
道内最大規模の肉フェス
・第53回あつま田舎まつり開催
JAとまこまい広域が地域振興に貢献
- 10 期待の農力 折坂拳聖さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 ホクレンSS サマーフェア

裏表紙 JAバンク 夏の貯金キャンペーン2025



「あつま田舎まつり」が53回目の開催を迎えた。厚真町のメインストリートにて同町の関係団体が「田舎まつり音頭パレード」に参加。JAとまこまい広域の役職員31名が踊り、前夜祭を盛り上げた。

広域

JAとまこまい広域農業振興対策協議会開催
1市4町の首長らが農業振興へ向けた
意見交換・情報共有を図る

JAとまこまい広域は6月6日、むかわ町穂別地区にある穂別町民センターで「農業振興対策協議会」を開催し、管内の1市4町の首長と関係機関より計32名が出席した。

開会にあたり堀弘幸組合長は「農業は出口の見えない問題が山積しており、各行政を交えた意見交換を行い、情報共有を図って参りたいと思います」と挨拶した。

胆振総合振興局は国政に関する提案や管内農政の動向、胆振農業改良普及センターからは生育状況や農作業の進捗状況について報告された。また、JA北海道中央会より作況変動に伴う需給変動に対応する流通対策、水田政策の見直しへ向けた考え方が示された。

各市町における話題と農業課題が提起された意見交換会では、鳥獣対策や担い手確保、諸生産費高騰など地域農業を取り巻く様々な問題に対する各行政の取り組みが首長より述べられた。米不足の話



▲議論の様子

題に関して厚真町の宮坂尚市朗町長は「米価の調整機能は本来に必要か。安定供給へ向けた施策に舵を切るべきではないか」と流通体制の見直しと増産を訴えていく必要性を示した。

追分

追分カンロ初出荷・初競り

今年の販売目標金額 2千7百9十8万円

肌をなでる風が爽やかな6月4日。安平町追分特産である追分カンロが初出荷を迎えた。今年最初の出荷となったのは、追分カンロ組合副組合長を務める鎌野太地さんで、初出荷のカンロは「小林香瓜」11箱となった。

「今年は春先から気温が低く日照時間が短い影響もあり全体的に小ぶりではあるが、糖度に関しては14度から15度と例年に比べると高く、甘みのある美味しいカンロとなった。寒さの対策として、ハウス資材を使用しトンネルを1枚のところを2枚かけ、早めにハウスを閉めるなど工夫を凝らした。天候に左右され不安な気持ちが続くこともあったが、無事初出荷を迎えることができ、大変嬉しく思う。これからもお客様に美味しいカンロを提供していきたい」と鎌野さんは話してくれた。



▲祝辞を述べる石橋専務



▲初出荷を迎えた鎌野太地さん



▲初出荷されたカンロ

翌日、札幌みらい中央青果で行われた初競りでは、L（14×15玉入り）のカンロが最高1万円の価格をつけ、今回出荷された11箱合計でおおよそ7万3千4百4十円（税込み）となった。

今年、追分カンロ組合では、生産者6戸で3・2haを栽培し、9月中旬までに7,360箱（59トン相当）を出荷する予定で、販売額はおおよそ2千7百9十8万円を目指す。

広域

JAとまこまい広域ホルスタインショウ開催
丹精込め育てた牛が最高位を競う

胆振管内JAとまこまい広域は7月3日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で「2025 JAとまこまい広域ホルスタインショウ」を開催した。未經産の部で山田美晴さん（厚真町）の「オーシヤンリスハーゲン」、経産の部で小華和寛紀さん（安平町）の「K1153 チュンキールファベット」がそれぞれ最高位に輝いた。

今年度は、管内の酪農家より未經産牛11頭（4部門）と経産牛10頭（3部門）



▲審査の様子



▲受賞した牛と関係者ら

の計21頭が出陳。STジャパン株式会社の高橋忠司氏が審査員を務め、部門別審査と最高位審査、講評を行った。第6部審査では来場者全員が参加可能な順位予想投票を開催。出陳される5頭の順位を予想し、審査結果に最も近い10名の参加者へ管内安平町追分の特産アサヒメロンが贈られた。

追分

ハイブリッドスターチス初出荷

家族と一致団結し初出荷を迎える

初夏を感じる5月18日、追分花卉生産組合によるハイブリッドスターチスの出荷が始まった。初出荷となったのは追分旭地区の富永勝利さん。今回出荷された品種は、「山吹」と「紅天」の2種類。ハイブリッドスターチスは、いくつかのスターチスの品種が交雑して生まれた園芸種で、花穂が小さく、細い茎にたくさん花を咲かせる特徴がある。

また、今回出荷された「山吹」は明るく鮮やかな黄色が特徴の花。「紅天」はピンク色が特徴の花で、どちらも色揚げが遅くドライフラワーでも長く色が楽しめる品種として有名だ。

「今年度は、例年に比べ気温が低く日照不足の影響もあり生育が遅れ、昨年より1週間ほど遅い出荷となった。天候にも左右され不安な気持ちが続くこともあったが、しっかりと成長し例年通り色鮮やかでボリュームのある花に育ってくれた。近年



▲鮮やかな山吹



▲初出荷を迎えた富永さん(左から亜由美さん・勝利さん・小百合さん)

フラワーロスが問題視されているが、今後、花の需要が上がりてくれることを期待しながら、色鮮やかで高品質な花を消費者に提供していきたい。長丁場の出荷となるが、体調に気を付けながら家族と協力し、出荷に努めていきたい」と、富永さんは意欲を燃やしていた。

同組合のハイブリッドスターチスは昨年9月上旬に定植され、半年以上の長い生育期間を経て出荷となった。同組合では、ハイブリッドスターチス、トルコギキョウをそれぞれ需要期に合わせ作付けし、11月頃まで札幌を中心に出荷する予定だ。

早来

カルビーポテト(株)向け加工馬鈴薯生育調査

圃場を巡回し生育状況を確認



▲意見交換の様子

JAとまこまい広域早来支所は6月23日(月)、早来地区生産者4戸のカルビーポテト(株)向け加工馬鈴薯の生育調査及び圃場巡回を実施し、現在の生育状況について確認した。

今年は、春先の低温・日照不足・雨続きで植付作業が平年の1週間から10日遅れになり、前回の萌芽調査では、茎長ムラ並び萌芽のバラつきが見られた。6月からの好天により植付作業遅れを取り戻してきているも、作付品種により茎長のバラつきがある圃場が見られた。一方で、生育の早い圃場はすでに開花初期を迎えていることから、生産者は熱心にカルビーポテト(株)

担当者との意見を交わし、当面の主要病害に於ける防除プログラムについて情報共有を行った。

生育調査は月2回実施。7月中旬からは、塊茎追跡調査や株掘調査を経て収穫適期を判断し、9月上旬から収穫作業が始まる。



▲開花期を迎えた圃場

カルビーポテト(株)向けの加工馬鈴薯は、平成29年度に早来地区50aから始まり、今年で8年目を迎えた。令和7年度加工馬鈴薯の作付戸数は同JA管内で17戸、作付面積120ha、出荷数量は4,800tを見込んでいる。

穂別

ほべつメロン初出荷・初競り

むかわ町穂別地区特産物「ほべつメロン」初出荷

むかわ町穂別地区の特産物「ほべつメロン」が6月18日よりJAとまこまい広域穂別支所選果場にて初出荷を迎えた。今年、ほべつメロン生産部会(後藤馨部会長)の佐藤裕次さん(63歳)、石崎憲一さん(50歳)の2名が初出荷を飾った。翌19日には札幌みらい中央青果にて初競りが行われ、秀品5玉6箱(8kg/箱)など計8箱を競りにかけた。秀品5玉1箱が最高15万円の値で競り落とされた。初出荷にあたり石崎さんは「今年は4

月に曇天が多く、日照不足のため着果が遅れた。5月以降は天候が回復し、作業は順調に進んだ。美味しいメロンを生産者一丸となって、取り組んでいるので、地域を代表する初夏の味覚を楽しんでください」と笑顔で話した。ほべつメロン生産部会では、本年度22戸の部会員によって、およそ13haを作付け、約175tの出荷数量を見込んでいる。7月中旬に出荷のピークを向かえ、8月中旬まで出荷が続く。



▲検査を受けている様子(むかわ町穂別)



▲初出荷された「ほべつメロン」(むかわ町穂別)



▲札幌みらい中央青果の初競りの様子(札幌市)

厚真

厚真産ハスカップが 初出荷・初競りを迎える

JAとまこまい広域厚真町ハスカップ部会

JAとまこまい広域の厚真町ハスカップ部会(山口善紀部会長)は6月23日、厚真町上野地区の青果物冷貯蔵施設にて厚真産ハスカップの初出荷を迎え、30件の生産者から370ケース(1ケース300g×4パック)が出荷された。翌24日に苫小牧市公設地方卸売市場で初競りが行われ、最上級規格の特A大1パックは最高値1,500円で競り落とされた。

厚真産ハスカップは、在来品種のほか



▲初出荷の様子(厚真町にて)



▲初競りを迎えたハスカップ(苫小牧市にて)

酸味を抑え甘みの引き立つ「ゆうしげ」や「あつまみらい」など生食でもおいしく食べられる糖度の高さと粒の大きさが特徴で、2024年には同部会の尽力により、特許庁の地域団体商標に登録されている。日本一の作付面積を誇る厚真産ハスカップの知名度拡大、ブランド力強化に部会一丸で取り組む様子だ。

町内の観光農園では7月中旬頃まで、ハスカップ狩りを楽しむことができる。

穂別

苫小牧市場の初競りで高値1万1千円

ほべつカンロ「ともりん」初競り

6月13日、苫小牧市公設地方卸売市場にて、むかわ町穂別地区のオリジナルブランド、ほべつカンロ「ともりん」の初競りが行われ、秀品3Lサイズ8箱(8kg/箱)、2Lサイズ16箱をはじめ計51箱が競りにかけられた。そのうち秀品2Lサイズ2箱に1万1千円の高値が付いた。



▲笑顔を見せる小林部会長(むかわ町穂別で)



▲苫小牧市公設地方卸売市場の競りの様子(苫小牧市で)



▲初競りに掛けられるほべつカンロ(苫小牧市で)

前日には、ほべつカンロ生産部会の山中光治さん(69歳)、布施義治さん(69歳)、橋本幸雄さん(71歳)の3名が出荷した。初競りにあたり小林明導部会長は「春先が日照不足のため、スタートは小玉傾向だが、収穫近くになり晴天が続いたことで、糖度の高い美味しいカンロに仕上がった。多くの人に食べてもらい食卓が明るくなれば」と話した。

同部会では、本年度15戸の部会員によって、およそ4,100m作付し、約11,000ケースの出荷を見込んでおり、6月下旬〜7月上旬にピークを迎え10月上旬まで出荷が続く予定だ。

理事会報告

令和7年6月10日(火)に総合営農センターで第6回理事会が開催され、次の事項について報告、承認がされました。

報告事項

1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 4月末財務報告について
3. 組合員の異動について
4. 内部監査の結果について
5. 経営定期点検の結果について
6. 第1四半期余裕金の運用報告について
7. 第2回ALM委員会報告について
8. 第2回コンプライアンス委員会報告について
9. カスタマーハラスメント対応方針の制定について
10. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
11. JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項の報告について
12. マネロリスクに係る取組状況について
13. 羽賀アドバイザーの活動報告について
14. 准組合員懇談会開催要領について
15. 7年産米穀の出荷契約について
16. 6年度北海道米(うるち米)啓発普及事業報告について
17. 7年度家畜共進会・枝肉共励会の予定について
18. 7年肥料年度(令和8営農年度用)取扱い要領について
19. 購買・販売部門の与信審査の結果について

付議事項

- 議案第 1 号 移動購買車導入に係る業者選定について
- 議案第 2 号 出資の増口と譲渡について

地域の話題を
パチリと

カメラレポート

広域

施肥時期を考慮した追肥体系の確立

秋まき小麦出穂期生育調査

JAとまこまい広域は6月3日、胆振農業改良普及センターの協力のもと、管内16件の圃場にて秋まき小麦の出穂期調査を実施した。同JAでは管内における土壌特性に合わせた施肥体系確立のため、施肥時期を考慮した追肥指導を実践している。そのため、越冬前、起生期、幼穂形成期、出穂期、登熟期といった生育段階ごとに調査を実施。今回の出穂期調査では草丈・茎数・幼穂の状態・葉色値の計測のほか、雑草や病害虫の発生状況などを確認した。出穂期以降は、病害虫発生の有無を予察しながら防除作業を行う。7月上旬に登熟期調査を行い追肥効果の確認、下旬に収穫を迎える。

同JAでは、収量や品質を大きく左右する生育状況を鑑みた適期の追肥励行のため、生産者や職員の理解醸成に努め、指導を強化している。



▲草丈および茎数を調査している様子(むかわ町穂別にて)



厚真

経営所得安定対策等交付金の申請受付並びに農産物出荷契約

JAとまこまい広域厚真支所

厚真町農業再生協議会(宮坂尚市朗会長)は、6月2日から6日にかけて経営所得安定対策等の交付金申請受付をJAとまこまい広域本所総合営農センターで開催した。JA農産部による米・小麦・大豆・ん菜の出荷契約も併せて行われた。

JAとまこまい広域は厚真支所管内で約200件の生産者と事務受委託契約を結び、同交付金の手続きを行っている。受付では水田政策の見直しや制度の概要について説明が行われたほか、本年の作付品目や面積の聞き取り、交付要件である生産性の向上を図る取り組み確認などが実施された。生産者は職員の説明に耳を傾け、今後の見通しについて質問が挙がるなど関心の高さがうかがえた。

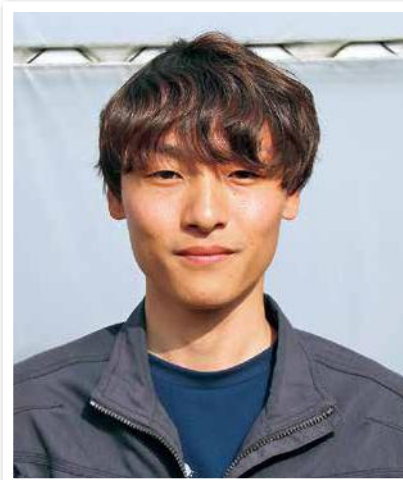
JAでは今回受付した内容をもとに申請様式の作成・最終確認を行い、北海道農政事務所へ申請書類を提出する。



▲聞き取りの様子

そんさんかがや「 期待の農力

父の教えを糧に 成長を目指して



おり さか けん せい
折坂 拳聖さん(24歳) 厚真町軽舞

平成12年8月23日、厚真町軽舞の折坂泰宏さん、紀子さんの長男として誕生する。平成31年に北海道岩見沢農業高等学校を卒業後、ドイツのデュッセルドルフにある日本食レストランに3年間勤務、帰国後はUターン就農を果たして今年で4年目を迎える。今年の作付けは、水稲26・0ha、大豆・秋小麦・ビート11・2ha、カーネーション、デルフィニウムなどの花卉があるハウス12棟を父と母と拳聖さんの3人で栽培する。

就農のきっかけ

拳聖さんは「小さい頃から農業を手伝う習慣がありましたし、純粹に体を動かすことや自然の中で過ごすことが好きでした」と話す。帰国後すぐ就農することとなった理由は「幼い時から農業が身近にあつて、祖父や父の姿

を見て農業をすることにずっと憧れを持っていましたからです」と当時を振り返った。

実際に就農して

拳聖さんは「子どもの頃から花卉の出荷時の調整作業などの手伝いをしていたので仕事の内容はある程度わかっていましたが、農業や肥料などの栽培面に関しては、父に教えてもらいました」と話す。「そして父だけではなく、近隣の農家さんや所属している青年部のメンバーたちからもたくさんのことを学ばせてもらっています」と感謝を述べていた。

また、農業のやりがいを聞くと「圃場に実った農作物を収穫した後の景色を見るのが楽しい」と話し、「作業をしていくうちに農業の知識や技術がだんだん身についていくのが実感できる」と農業の魅力も話してくれた。

今後の目標

拳聖さんは最後に「今は父に教えてもらいながら作業している部分もあるのでこれから独り立ちできるように栽培管理などの専門的な知識を身につけていきたい。花卉は特に苦勞している、追肥のタイミングだったり、地温の調整など定植してからの作業が大変なので効率的に作業できるように努力したい」と今後の意気込みを語った。

【白老】2025白老牛肉まつり開催 道内最大規模の肉フェス

2025白老牛肉まつり(白老牛銘柄推進協議会主催)が6月7、8日の2日間で開催された。昨年に続き会場は白老駅北観光インフォメーションセンター「ポロミントラ」周辺で、2日間で10,342人が来場した。

2日間の開催のうち初日の午前中は小雨がぱらつく生憎の天気だったが、それ以外は晴天に恵まれ、会場では家族連れや友人のグループなど多くの人が白老牛を堪能する光景が広がっていた。

今回用意した白老牛は7頭分。すべて上物で質の高い白老牛が店頭並び、前売券交換ブース、当日販売ブースともに長蛇の列ができるほど盛況だった。

会場には焼き肉のほかにも様々な出店があり、ハンバーグサンドやビーフカレー、ハンバーガーなどが人気を集めていた。特に白老牛銘柄推進協議会青年部が出店したハンバーグサンドは客足が絶えることなく、最終日の終了時間を待たず販売終了となるほど人気だった。

また同まつり名物の黒毛和牛の丸焼きの窯だしの時間になると、窯から出される瞬間を一目見ようと大勢の人が押し寄せた。

同まつり実行委員会の委員長を務めた石田拓矢(35)さんは「まずは開催に当たり協力していただいた方々全員に感謝申し上げたい。今年も多くの方に来場してもらい白老牛を楽しんでもらえたことをうれしく思う。初日の午前中は雨が降ったため残念だったが、それ以外は晴天でほっとしている。来年も開催となれば来場された方々にもっと楽しんでもらえるような催しを考えていきたい」と話した。



▲焼肉会場の様子



▲白老牛銘柄推進協議会青年部
白老牛ハンバーグサンド



▲黒毛和牛の丸焼き 窯だしの様子



▲広域産の野菜販売ブースの様子

第53回あつま田舎まつり開催

JAとまこまい広域が 地域振興に貢献

胆振管内厚真町の表町公園で6月28日～29日、第53回あつま田舎まつり(厚真町田舎まつり実行委員会主催)が開催。その中でJAとまこまい広域厚真支所は「豊稔祈願祭」を執り行い農産物の豊作を祈願したほか、特設のお米すくいどりブースで、厚真産の「さくら米」を来場者に振る舞った。



▲鏡開きの様子(豊稔祈願祭)



▲さくら米のすくいどりをした来場者



▲青年部員によるかき氷販売

同JAからは青年部厚真支部が今年も出店。生ビールやかき氷、JAジギスカンなどを販売した。恒例の特盛かき氷は、炎天下で絶えず行列を作り子どもたちを笑顔にした。また、参加した青年部員は「自分が店頭に立たなくても若手の部員だけで店が回っており少々驚いているが、頼もしく思う」とブース裏で炭を囲み談笑するベテラン部員との対照を印象的に語った。同支部では10数年青年部活動を行ってきた盟友と若手部員たちの世代融合が進んでいる模様だ。

その他畜産部による牛乳配布や田舎まつり音頭パレードに役職員約30名が参加するなど、同JAは様々な形でまつりを盛り上げ地域振興に貢献した。

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

かぼちゃ果実斑点 細菌病対策！

高温・多湿の気候になると、かぼちゃで果実斑点細菌病による葉の枯れ上りが多発する恐れがあります。また、果実では大型突起やかさぶた状症状が見られ、収量が低下する要因になるので注意しましょう。

適切な薬剤散布により収量や品質を高め、収益性の向上を図りましょう。

1 果実斑点細菌病の主な症状

- ①育苗中：葉に円形の灰褐色病斑
- ②定植後：茎葉に水浸状小斑点、円形灰褐色病斑
- ③茎葉の萎縮、子づるの伸長緩慢
- ④茎部の症状
- ⑤果実にかさぶた症状や突起症状
- ⑥大型突起症状



①育苗中の症状



②定植後の葉の症状



③茎葉の萎縮



④茎部の症状



⑤かさぶた症状(小型突起)



⑥大型突起症状

2 薬剤防除のポイント

例年、育苗中に発病する育苗施設では発病前に薬剤の茎葉散布を行う。また、育苗中に発病を認めた場合は、発病苗を除去後に薬剤の茎葉散布を実施する。なお、葉害の発生に注意する。

定植後は、高温多湿条件で多発傾向となる。防除適期は雌花の開花直前(幼果の時期)なので、葉に斑点が多く見られる場合は、突起果の発生を抑えるため、速やかに防除を実施する。

1 番果着蕾期(開花7日前)から7日間隔で2～3回薬剤の茎葉散布を行う。

ただし、露地セル育苗作型や露地直播作型で、1番果着蕾期前に発病を認めた場合には、すみやかに薬剤散布を開始する。

【防除例】

クプロシールド(1,000～2,000倍)またはコサイド3000(2,000倍)

※注意 高温時の散布は避ける。

また、コサイド3000を使用する場合は、葉害軽減のために炭酸カルシウム水和剤等を加用する。

ワンポイント営農情報

小麦収穫後の土壌改良は、ベストタイミング

小麦収穫後は、次年度作物のために土壌改良をしましょう。

①土壌分析～土壌pHや成分バランスを適正な領域に改善しよう

土壌は、降雨や施肥により年々酸性化が進みます。土壌が酸性化すると作物の生育阻害やアルミニウムイオンが溶け出すことによる根への機能障害作用・リン酸の難溶化、微量元素が溶け出す・溶けにくくなることによる過剰障害・欠乏障害、石灰・苦土などの塩基の欠乏、微生物の活動に対する悪影響などが作物の生育に影響を与えます。

②後作緑肥の栽培

後作緑肥は、地力維持・向上などに加え、雑草繁茂の防止、有害センチュウ類の密度低減などの効果が期待できます。播種は、小麦収穫後できるだけ速やかに行いましょう。

表4 緑肥の効果

作物名	科名	効果									
		有機物供給	窒素効果	物理性改善	透水性改善	キタネグサレセンチュウ	キタネコブセンチュウ	菌根菌	病害	雑草抑制	土壌侵食防止
えん麦	イネ科	◎	○	○		×	◎	○	注2	○	○
えん麦野生種	イネ科	◎	○	○		◎	◎	○	注2	○	○
ヘアリーベッチ	マメ科		◎			×	×	◎		◎	○
シロカラシ	アブラナ科	○	○	○		×	×		注2	○	○
ひまわり	キク科	◎		◎	○	×	×	◎	注2	○	◎

注1 ◎:非常に効果がある、○:効果がある、×:線虫を増やす。

注2 えん麦はジャガイモそうか病に効果がある。えん麦野生種はジャガイモそうか病、小豆落葉病に効果がある。シロカラシはジャガイモそうか病、根こぶ病を助長する。

ひまわりは半身萎凋病の発生を助長する恐れがある(抵抗性品種の作付けが望ましい)。

注3 雑草抑制効果は十分な生育量が前提となる。

注4 品種の詳細な特性等は種苗会社のカタログ等を参照する。

【出典】「北海道緑肥作物等栽培利用指針(改訂版)」(2004年、道農政部、一部変更)

シリーズNo.60 おいしい米づくり

～出穂からの病害虫防除のポイント～

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ被害による斑点米対策

近年は、夏場の高温年でも適切な防除の実施により、カメムシの水田での発生は少なく、斑点米の発生は低く推移しています。

しかし、ほ場の周辺環境によっては、斑点米の混入が続いているほ場も見られ、調製時の歩留低下につながる事例も懸念されます。

斑点米の発生が続いているほ場では、基幹防除(水田内の開花終了から早い穂がかがみ始めた頃)が早すぎないかの確認や基幹防除後7～10日目の追加防除の実施を検討して下さい。

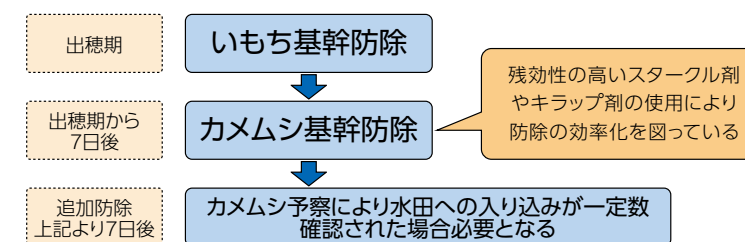


図1 カメムシの防除体系

2 倒伏状況の確認と次年度の対応

7月に入り急激に気温が上昇しやすくなり、出穂後に早期倒伏するほ場が目立つようになっています。早期倒伏は、登熟不良となり収量の低下、未熟粒や発芽粒などの被害粒による品質低下につながっています。



原因としては、出穂直前の高温により稈が急激に伸びることによる軟弱化や病害による稈の劣化が助長しているとされています。

倒伏が続いてみられるほ場では、土壌診断による施肥の再設計や不足養分の補給、病害では赤色菌核病による葉鞘の枯れ上りの予防を取り入れるなどの対応が必要となります。

ホクレンSS サマーフェア 2025

7・11 9・15

ホクレンSS サマーフェア

新規入会 & 会員登録で 500 ポイント ゲッツ!

税込2,000円以上給油すると ホクレンSSポイント 最大 5000 ポイント ゲッツ!

ホクレンSSポイントカード 会員登録はこちら!

最大 5% お得に ゲッツ!

対象バーコード決済 PayPay d払い au PAY

ホクレンSSポイントカード 新規入会募集中

ホクレンSS E・NET ホームページは 各キャンペーンのエントリーや 詳細はコチラから

J A 日 誌

2025 7 月

- 16日(水) 第7回理事会(移動理事会)
- 17日(木) 2025日胆畜産共進会(黒毛和種の部)
- 18日(金) 青果物産地協議会
- 19日(土) 第42回むかわ町種別流送まつり ~20日
- 20日(日)
- 21日(月) 海の日(祝)
苫小牧市民親子料理教室(苫小牧市民活動センター)
- 22日(火)
- 23日(水) 日胆地区共済推進委員会(苫小牧)
第6回企画会議
- 24日(木) ホクレン肥料空知工場・JAいわみざわ本所事務所視察
- 25日(金)
- 26日(土) 准組合員利用者懇談会(子供農業体験バスツアー)
ハイジ牧場
- 27日(日)
- 28日(月) 厚生連理事会
むかわ町農業振興対策協議会
- 29日(火)
- 30日(水) いなげや来所
カルビーポテト(株)社長・北海道本部長来所
- 31日(木) 北海道酪農協会
農林水産省実務担当官との懇談要請 ~1日

2025 8 月

- 1日(金) 第2四半期実地棚卸、苫小牧港まつり ~3日
(株)角三 佐久間社長 南瓜園場巡回 ~2日
- 2日(土) 種別支所生産者交流会
しらおい夏の牛肉フェア
- 3日(日)
- 4日(月) 全共連総代選挙開票日
- 5日(火) 中小機構 令和6年度推進表彰
年金友の会厚真支所 ファイターズ観戦、課長研修1(第2回)
- 6日(水) JAバンク本部委員会(札幌)
足跡の会(森林組合)主催 被災山林視察、ホクレン肉牛市場
- 7日(木) 生産組織との意見交換会
- 8日(金) ホクレン乳牛市場
北海道米生産者交流会(岩見沢)
- 9日(土)
- 10日(日)
- 11日(月) 山の日(祝)
- 12日(火)
- 13日(水) 第4回地区担当理事会議、第6回監事会
第8回理事会、ホクレン意見交換会
- 14日(木)
- 15日(金)

共済推進対応のお礼

組合員の皆さまにおかれましては、毎日の農作業大変忙しいことと存じます。日頃よりJA事業に対し特段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

5月21日からの白老支所(苫小牧西部を含む)を皮切りに全支所で行った「共済一斉推進」の際には、大変お忙しい中お時間を割いて頂き、誠にありがとうございました。

併せて、ご契約していただきました皆さまへも、心よりお礼申し上げます。

今後ともJA事業へのご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、農作業中の事故・ケガなどには十分ご注意ください。豊穡の秋を迎えられることを心よりお祈りいたします。

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

月 日	地 区	氏 名	享年
6/1	むかわ町	谷口 彰さん	73
6/3	厚真町	松原 鏡松さん	96
6/11	厚真町	松原 敏和さん	84
6/14	むかわ町	長岡 宗芳さん	72
6/17	厚真町	畑嶋 敏明さん	86
6/19	安平町	林 純一さん	44

ホクレン南北海道黒毛和種市場
広域農協支所別取引成績(7月)

令和7年6月11日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白 老	去勢	26	728,038	1.202	2,096
	雌	9	565,111	1.129	1,649
早 来	去勢	27	733,667	1.203	2,019
	雌	16	575,563	1.096	1,729
厚 真	去勢	13	727,846	1.194	2,075
	雌	16	578,375	1.123	1,712
穂 別	去勢	21	665,095	1.156	1,979
	雌	25	535,040	1.061	1,657
追 分	去勢	12	723,417	1.213	2,009
	雌	5	562,400	1.047	1,694
とまこまい 広 域	去勢	99	715,636	1.193	2,037
	雌	71	559,676	1.090	1,687
胆 振 管 内	去勢	188	717,085	1.182	2,048
	雌	137	556,599	1.067	1,698
市 場 計	去勢	921	679,719	1.158	1,990
	雌	692	541,318	1.044	1,704